

第V章 地元の活動

本調査における大町地区とその周辺の活動と、ワーキングメンバー、ワークショップ参加者の一覧を以下に示す。

表 V-1 平成 17 年度の大町地区とその周辺の活動

日付	活動	内容
H17. 11. 9	第1回ワーキング	17年度の活動の目的、進め方の協議
H17. 11. 16	第1回ワークショップ	大町地区のよい点、よくない点の話し合い
H17. 11 中旬	アンケート配布	中心市街地活性化に関する意識調査
H17. 11 下旬	かわら版発行	活動報告、第1回ワークショップについて
	大町地区個別面談	市営大町住宅街区の権利者面談実施
H17. 11. 30	第2回ワーキング	現況把握、大町地区の整備方針の協議
H17. 12. 7	第2回ワークショップ	大町地区を魅力的にするアイデア出し
H17. 12 月上旬	かわら版発行	アンケート結果報告
H17. 12. 20	第3回ワーキング	大町地区の整備方針の協議
H18. 1. 18	第4回ワーキング	大町地区の整備基本計画の協議
H18. 2. 8	第3回ワークショップ	大町地区の整備基本計画への要望出し
H18. 2. 22	第5回ワーキング	本年度のまとめ、今後の進め方
H18. 3 月下旬	かわら版発行	大町地区の整備基本計画案作成報告

表 V-2 ワーキングメンバー一覧

(順不同、敬称略)

No.	氏 名	所 属
1	金澤 邦男	大町地区まちづくり協議会会長・大町商店街振興組合長
2	島内 重昭	大町地区まちづくり協議会副会長
3	八代 猪一郎	大町地区まちづくり協議会監事
4	黒澤 誠	大町地区まちづくり協議会監事
5	米沢 直樹	大町地区まちづくり協議会監事
6	明石 喜美	秋田県北 NPO 支援センター理事長・大町地区まちづくり協議会監事
7	小笠原 吉張	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科助教授
8	渡辺 秀広	J Aあきた北総務課
9	和田 成達	大館商工会議所中小企業相談所
10	片岡 良平	大館商工会議所商工課
11	桜庭 誠	秋田県建設交通部建築住宅課
12	菅野 敏和	秋田県建設交通部建築住宅課
13	土橋 茂	秋田県北秋田地域振興局建設部
14	若狭 公悦	大館市産業部商工課
15	近藤 研精	大館市産業部商工課
16	鳥潟 幸男	大館市産業部商工課
17	丸岡 信雄	大館市建設部都市計画課
18	佐藤 雄幸	大館市建設部都市計画課
19	兜森 良一	大館市建設部都市計画課
20	横山 英生	株式会社都市環境研究所
21	海老澤 琢也	株式会社都市環境研究所
22	田崎 いづみ	株式会社都市環境研究所
23	石垣 育夫	アイピーオー経営プロデュース事務所
24	直井 弘	株式会社総合不動産鑑定コンサルタント
25	森 宣人	MONO建築空間研究所

表 V-3 大町地区まちづくりワークショップ参加者

(順不同、敬称略)

No.	氏 名	所 属
1	金澤 邦男	大町地区まちづくり協議会会長・大町商店街振興組合長
2	島内 重昭	大町地区まちづくり協議会副会長
3	八代 猪一郎	大町地区まちづくり協議会監事
4	黒澤 誠	大町地区まちづくり協議会監事
5	米沢 直樹	大町地区まちづくり協議会監事
6	明石 喜美	秋田県北 NPO 支援センター理事長・大町地区まちづくり協議会監事
7	小棚木 徹	大町町内会長
8	石田 起徳	新町町内会長
9	小笠原 吉張	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科助教授
10	高橋 元喜	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科 学生
11	能登屋亜季未	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科 学生
12	佐藤 剣	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科 学生
13	市川 愛望	秋田職業能力開発短期大学校住戸環境科 学生
14	小棚木 政之	大館まちづくり協議会会長
15	明石 宏康	大館青年会議所
16	齊藤 留美子	設計事務所アマランス
17	菅野 敏和	秋田県建設交通部建築住宅課
18	近藤 研精	大館市産業部商工課
19	鳥潟 幸男	大館市産業部商工課
20	佐藤 雄幸	大館市建設部都市計画課
21	兜森 良一	大館市建設部都市計画課
22	横山 英生	株式会社都市環境研究所
23	海老澤 琢也	株式会社都市環境研究所
24	田崎 いづみ	株式会社都市環境研究所

ワークショップ配付資料

第1回

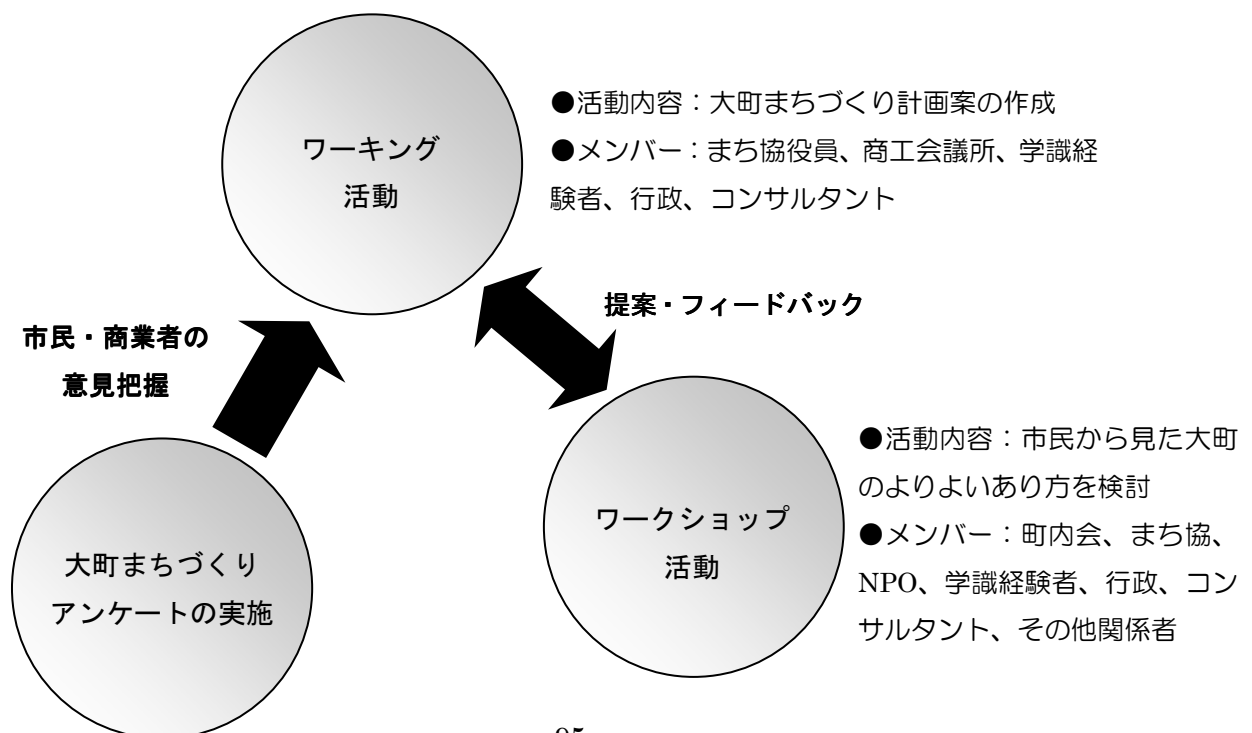
大町地区まちづくりワークショップ

はじめに

全国的に中心市街地の空洞化が進行していますが、地域の再生を推進するためには、中心部（街なか）への人口の呼び戻しが急務とされます。

大館市の旧来からの中心市街地である大町地区では、数年前からかつての賑わいや活気を取り戻すべく活動し、今年度は「大町地区まちづくり協議会」を発足してまちづくりに関する勉強会を開催しています。今年度はさらに、国の支援による「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定され、市営住宅の建て替え等による街なか居住の推進や、旧正札竹村デパートの再整備を検討して中心市街地の活性化策を検討することとなりました。

平成 17 年度の活動イメージ



大館市 全国都市再生モデル調査の活動スケジュール

	ワーキング	ワークショップ	その他
9 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第1回ワーキング (9/29) ・活動の目的、進め方 ・ワークショップの進め方 </div>		
10 月	↓	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第1回ワークショップ (10/19) ・大町地区のよい点、問題点、不足している点の話し合い ・意見の共有 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 10月中旬～下旬 大町まちづくりアンケートの実施 全市民：インターネット 大町地区周辺：郵送 </div>
11 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第2回ワーキング (11月上旬) ・アンケート結果の把握 ・問題点の共有 ・中心市街地活性化に向けた計画の検討 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第2回ワークショップ (11月下旬) ・アンケート結果の報告 ・大町地区を魅力的にするアイデア出し </div>	
12 月	↓	↓	
1 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第3回ワーキング (1月中旬) ・具体的な事業化計画の検討 ・事業手法について </div>		
2 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第4回ワーキング (2月末) ・本年度のまとめ ・今後の活動について </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第3回ワークショップ (2月上旬) ・中心市街地活性化のための大町地区まちづくり計画案の提案とそれに対する意見交換 </div>	
3 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 取りまとめ、次年度に向けた課題の報告、課題の解決方法の提案 </div>		

大館市 大町地区まちづくりワークショップの全体

●ワークショップ開催の趣旨

ワークショップでは、参加者それぞれの立場から大町地区に関するご意見やご要望を出していただき、大町のよい点、問題点を共有しあいます。そして、市民の目からみた大町地区のよりよいあり方、市営住宅の建て替え計画及び正札竹村デパート跡の使い方を検討していきます。

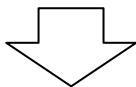
第1回ワークショップ

●大町地区をもっとよく知ろう！

※ワークショップを通じて大町地区のよいところ、不足しているところ、問題点をしあおう

10/19

福祉センター3F第1研修室



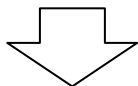
第2回ワークショップ

●大町地区を魅力的にするアイデアを出そう！

※大町地区に「あったらいいな、行ってみたいな」と思う施設やサービス、イベントがあれば言ってみよう

ワークショップと平行して、「大町地区まちづくり協議会」「行政」「商工会議所」「コンサルタント」等による大町地区活性化に向けた事業化検討会（ワーキング）を行っています。ワークショップで出た意見はワーキング活動に反映していきます

11月下旬



第3回ワークショップ

●具体的にまちづくりを進めていこう！

※ワーキングで検討した「大町まちづくり計画案」に対して、いろいろな立場や考え方から意見を出しあおう

2月上旬

■第1回ワークショップのプログラム

はじめに（20分）

1. 大館市あいさつ
2. 事務局紹介とワークショップ全体プログラムの説明（事務局）

ワークショップ（各グループ毎に実施、85分）

3. ワークショップの進め方の説明
4. ワークショップでの検討

— 休憩 5分 —

まとめ（25分）

5. 各グループ毎に発表
6. まとめ（事務局）

■第1回ワークショップの流れ

14:00

集合

はじめに

- 大館市あいさつ（5分）
- 事務局紹介とワークショップの位置づけの説明（5分）
- ワークショップ全体プログラムの説明と第1回目の流れを説明（5分）

14:20

自己紹介（ここから2グループに分かれて活動します）

- 大町地区に対する『思い』や今回のワークショップに対する『意気込み』などを自己紹介カードに書いてください。（5分）
- 自己紹介カードに書いたことをもとに自己紹介してください。（1人1分程度）

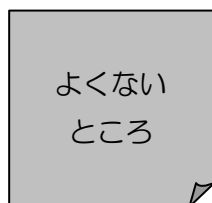
14:45

STEP-1

大町地区をもっとよく知ろう！

- 大町地区のよいところ、不足しているところ、問題点を手元の付せんに書きましょう。（各テーマ10分程度）

テーマ1：街並みや建築物について
テーマ2：商店街のお店について
テーマ3：防犯や安全について



色分けして書きましょう。どちらにも当てはまらない場合は、黄色い付せんに書いてください。

1つの意見に対して、1枚に書きましょう
意見は具体的に書きましょう

書いた意見をテーマごとに模造紙に貼っていきましょう。

15:15

STEP-2

模造紙に出された意見をみんなで振り返ろう！（30分）

○「よいところ」と「よくないところ」をまとめていきます

— 休憩 5分 —

15:50

STEP-3

グループごとに意見を発表しよう！（20分）

16:10

まとめ

○事務局から本日のまとめをお話しします（5分）

16:15

解散

お疲れ様でした！！

大館市 大町地区まちづくりワークショップの全体

●ワークショップの全体像

ワークショップでは、参加者それぞれの立場から大町地区に関するご意見やご要望を出していただき、大町のよい点、問題点を共有しあいます。そして、市民の目からみた大町地区のよりよいあり方、市営住宅の建て替え計画及び正札竹村デパート跡の使い方を検討していきます。

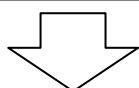
第1回ワークショップ

●大町地区をもっとよく知ろう！

※ワークショップを通じて大町地区のよいところ、不足しているところ、問題点をしあおう

10/19

福祉センター3F第1研修室



第2回ワークショップ

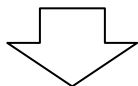
●大町地区を魅力的にするアイデアを出そう！

※大町地区に「あったらいいな、行ってみたいな」と思う施設やサービス、イベントがあれば言ってみよう

ワークショップと平行して、「大町地区まちづくり協議会」「行政」「商工会議所」「コンサルタント」等による大町地区活性化に向けた事業化検討会（ワーキング）を行っています。ワークショップで出た意見はワーキング活動に反映していきます

11/30

福祉センター3F第1研修室



第3回ワークショップ

●具体的にまちづくりを進めていこう！

※ワーキングで検討した「大町まちづくり計画案」に対して、いろいろな立場や考え方から意見を出しあおう

2月上旬

第1回ワークショップの振り返り



大町地区のよいところ、問題点、不足している点を出し合い、意見交換を行いました。出されたご意見の一部を紹介します。

<p>まちなみ 建築物 道路 など</p>	<p>よいところ ○歴史あるまちで市民の心の拠り所 ○アーケードは雨や雪をしのげて良い ○地形にアップダウンがあり表情に富んでいる、洪水の心配がない ○交通網が発達し便利 ○病院や銀行、文化会館などが近い ○NPO 支援センター、ハチ公プラザ、葬祭センターには人が集まる ○お寺は集客施設になっている ○道路が広い</p>	<p>よくないところ ●古く、暗いイメージ ●街に歴史や物語を感じることが出来ない。画一的な印象 ●シャッター通りになっている ●休憩できる場所が無い、トイレが不足 ●市民が安心して集える空間が無い ●老朽化した建物は、台風や地震で外壁が剥がれるのではないかと心配 ●車道が広く反対側の店に行きにくい ●駐車場不足、有料であることは不満</p>
<p>商店街の お店</p>	<p>よいところ ○ハチ公スタンプやイベントなどの活動がんばっている ○商店が集積していて買い物しやすい ○ここでしか求められない商品がある ○ネームバリューがあるので贈答品は大町で買う ○地元密着の顔が見える商売 ○病院や役所のついでに立ち寄れる ○知っている人が営業していて安心</p>	<p>よくないところ ●欠けている業種がある（食料品など） ●開店時間が遅く、閉店時間は早い ●若い人が行くような店が無い ●正札が無くなってから顔が無くなった印象 ●気軽に入れる店がない ●店員教育が行き届いていない ●イベントを夜にやるので、商店街の売り上げにつながっていないのでは</p>
<p>防犯 安全</p>	<p>よいところ ○アーケードの照明があるので夜も明るくて安心 ○火災に強い町並みだと思う ○大きな事件がない</p>	<p>よくないところ ●人が住んでいないので、もしもの時に助けしてもらえない ●歩道がでこぼこしていて歩きにくい ●車道と歩道の段差があり、高齢者と幼児には危険 ●横断歩道について、赤信号の時間が長い、距離が長い、数が少ない ●空き店舗が多いので防災の上危険</p>

ワークショップの進め方

14:00

集合

はじめに

- 大館市あいさつ（5分）
- 事務局から、前回の振り返り（5分）
- 今回のWSのねらいの説明（5分）

14:20

STEP-1

大町地区をよりよくするためのまちのイメージを決めよう！（40分）

- 手元にあるカード（名刺サイズ程度）の中から、個人個人で自分の考えに近いイメージのカードを3枚選び出してください。（10分）
- 自己紹介をして、3枚のカードを選んだ理由を簡潔に話してください。（15分）
- 次に、グループの意見としてカードを数枚に絞り込んでください。単純な多数決で絞るのではなく、みんなの意見に耳を傾けて選びましょう。（15分）
- 用意されたカードで適切に表現できない場合は、一部を修正をしたり、書き足したりしてもよいでしょう。

大町地区のまちづくりのイメージカード20枚（各自に1セットずつ配布）

大町地区外からの
アクセスのよい
交通基盤の
整ったまち

冬でも**雪**に左右
されずに快適に過
ごせるまち

お寺や**神社**
を中心とした**門**
前町

お祭りや**市**、
イベントが
活発に行われるまち

利用者の**年齢**や**目**
的に応じて様々な**空**
間が用意されたまち

街路樹や**花壇**
が美しい**自然**を感じ
るまち

ライブ活動や演劇、美術
展示ができる**文化**
活動の盛んなまち

おしゃれして行
きたくなるブランド店な
どが集まる**高級志**
向なまち

城下町を再現した
歴史を感じるまち

図書スペース、学習塾な
どがある**学生**が集う
まち

他県からも人が集まる
テーマパークなどの
娯楽施設
があるまち

ファミリーレストランなど
家族で気軽に行け
る**飲食店**の集まる
まち

大型店と**個人**
商店が**共存**しあ
うまち

清潔な**休憩ス**
ペースや**トイレ**
のある歩行者にやさしい
まち

福祉施設や病院の集まる
高齢者・
障害者が
過ごしやすいまち

深夜でも**安心**し
て歩けるまち

秋田犬、きりたんぼ、比
内地鶏、曲げわっぱ等の
大館の**名産**を活かし
た**観光**のまち

市役所、郵便局、法務局
などの**公共窓口**
サービスが集積
するまち

日常生活で必要
なもの（生鮮三品、総菜、
パン、日用雑貨）が揃う
まち

居住人口をアッ
プさせる様々な年代のた
めの**住宅**が
整備されたまち

15:00

STEP-2

グループで絞ったイメージを実現するためのアイデアを出そう！（45分）

- イメージカードの内容を実現するためにはどうしたらよいか話し合いましょう。
- 『どこで』、『誰が』、『誰のために』、『どんなもの（こと）を』やれるかを模造紙や地図に書き込んでいきましょう。

— 休憩 5分 —

15:50

STEP-3

グループごとに意見を発表しよう！（20分）

16:10

まとめ

- 事務局から本日のまとめをお話しします（5分）

16:15

解散

お疲れ様でした！！

第3回

大町地区まちづくりワークショップ

大館市 大町地区まちづくりワークショップの全体

●ワークショップ開催の趣旨

ワークショップでは、参加者それぞれの立場から大町地区に関するご意見やご要望を出していただき、大町のよい点、問題点を共有しあいます。そして、市民の目からみた大町地区のよりよいあり方、市営住宅の建て替え計画及び正札竹村デパート跡の使い方を検討していきます。

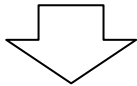
第1回ワークショップ

10/19

福祉センター3F第1研修室

●大町地区をもっとよく知ろう！

※ワークショップを通じて大町地区のよいところ、不足しているところ、問題点を出しあおう

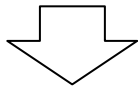


第2回ワークショップ

11/30

福祉センター3F第1研修室

●大町地区を魅力的にするアイデアを出そう！



第3回ワークショップ

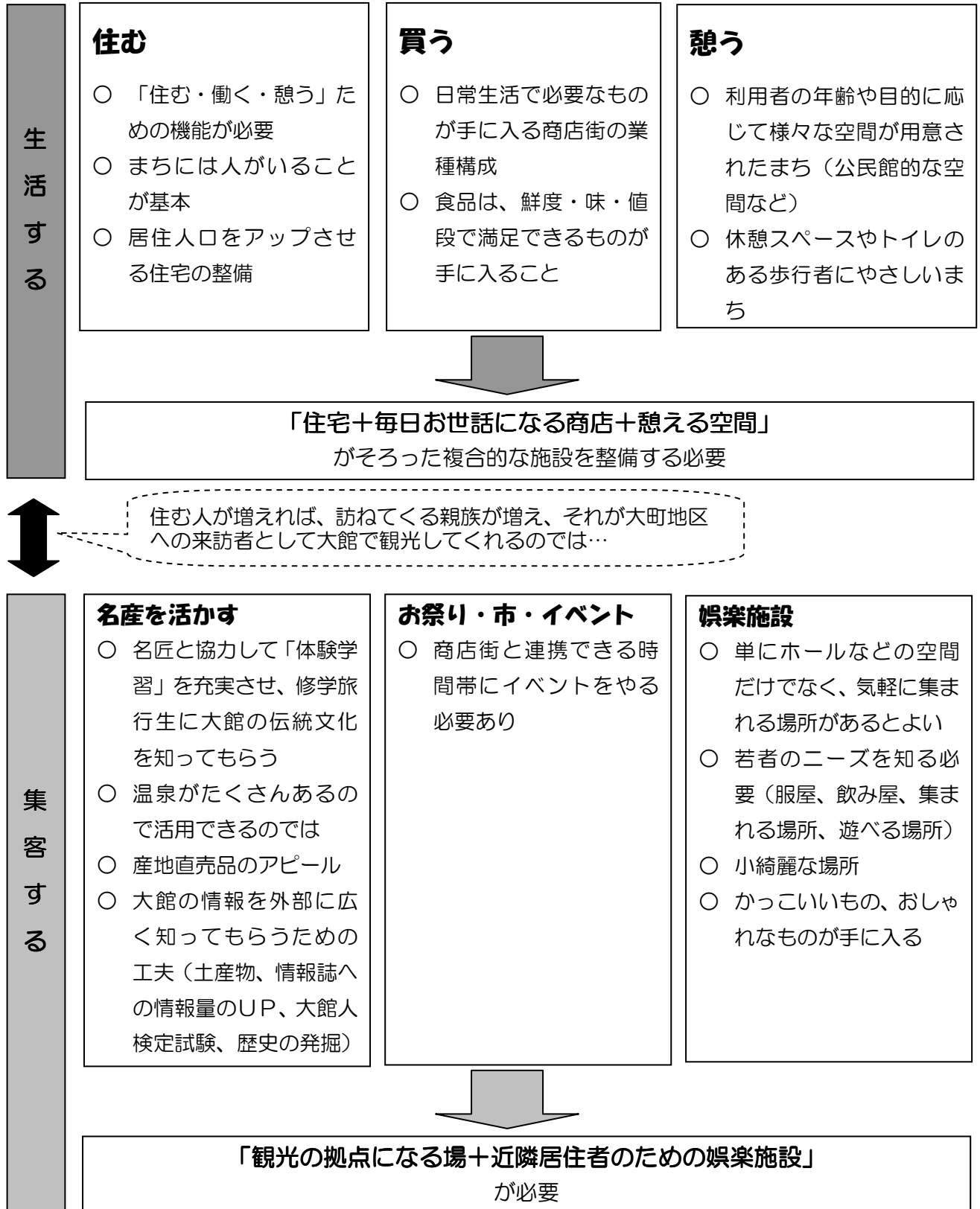
2/8

福祉センター3F第1研修室

●具体的にまちづくりを進めていこう！

※ワーキングで検討した「大町まちづくり計画案」に対して、いろいろな立場や考え方から意見を出しあおう

第2回ワークショップの振り返り



■第3回ワークショップの流れ

13:30

集合

はじめに

- 大館市あいさつ
- 事務局から、前回の振り返り
- 今回のWSのねらいの説明

13:50

STEP-1

大町地区の計画案を観察しよう！（20分）

- 進行役から図面と模型を使って、ワーキングで検討した大町地区とその周辺の計画案を説明します。
- 説明後、各自で模型を自由に見てください。

14:10

★ここから2グループに分かれます

STEP-2

大町地区計画案に意見を出していこう！（45分）

- 気になる点や予想と違っている点などを、2グループに分かれてそれぞれのグループでテーマ別に意見を出してください。
- 以下の6つのテーマを各5分間程度で意見を出していきます。
 - ①市営大町住宅の街区
 - ②旧正札竹村周辺の街区
 - ③大町商店街の通り（アーケード、モール化について）
 - ④大町商店街の周辺の道路
 - ⑤駐車場
 - ⑥その他

- 進行役が付せんに出てきた意見を記入していきます。参加者は各自でご記入いただいても構いません。
- 付せんは「提案は青色」、「質問は黄色」、「反対意見は赤色」に分けて記入していきます。
- 進行役がテーマ別、色別に模造紙に張り込んでいきます。



14:55

STEP-3

大町地区をよりよくするため模造紙に張り出された意見を話し合おう！

(45分)

- 住民、商業者、学生、専門家、行政、設計者など、各々の立場に立って、1つ1つの付せんの内容について話し合いましょう
- 進行役は、出てきた発言を壁に貼った図面や模造紙に記録しまとめていきます。

— 休憩 10分 —

15:50

STEP-4

グループごとに意見を発表しよう！（20分）

16:10

まとめ（10分）

- 事務局から本日のまとめをお話します（5分）

16:20

解散

お疲れ様でした！！

かわら版



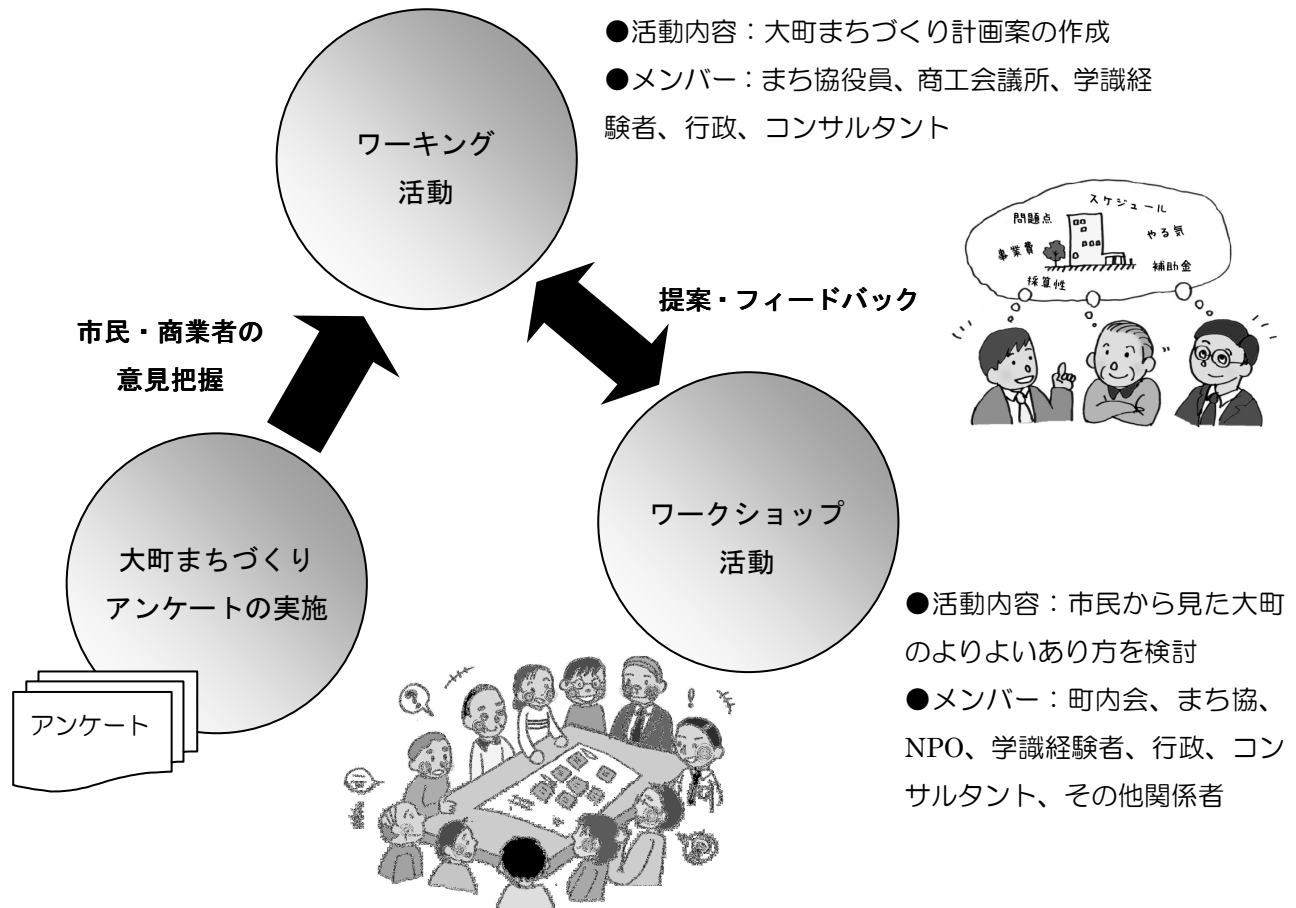
今年度、大町地区ではこんな活動をしています

全国的に中心市街地の空洞化が進行していますが、地域の再生を推進するためには、中心部（街なか）への人口の呼び戻しが急務と思われます。

大館市の旧来からの中心市街地である大町地区では、数年前からかつての賑わいや活気を取り戻すべく活動し、「大町地区まちづくり協議会」を発足してまちづくりに関する勉強会を開催しています。今年度はさらに、国の支援による「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定され、市営住宅の建て替え等による街なか居住の推進や、旧正札竹村デパートの再整備を検討して中心市街地の活性化策を検討することとなりました。

そこで、市民の皆さんの大町地区のまちづくりに関するご意見やご要望を把握するため、下図の活動をおこないます。

平成17年度の活動イメージ



第1回 大町地区まちづくりワークショップを開催しました

ワークショップ開催の趣旨

ワークショップでは、参加者それぞれの立場から大町地区に関するご意見やご要望を出していただき、大町のよい点、問題点を共有しあいます。そして、市民の目からみた大町地区のよりよいあり方、市営住宅の建て替え計画及び正札竹村デパート跡の使い方を検討していきます。

ワークショップのスケジュール

★第1回ワークショップ 10/19 (水)

↓
大町地区のよいところ・問題点・不足している点
↓
を出しあおう

★第2回ワークショップ 11/30 (水)

↓
大町地区を魅力的にするアイデアを出そう

★第3回ワークショップ 2月上旬開催予定

↓
大町地区まちづくり提案に対して意見を出しあおう

今回はココ！



活動メンバー

町内会、大町まちづくり協議会、NPO、学識経験者、学生、行政、コンサルタント、その他関係者

大町地区のよいところ、問題点、不足している点を出し合い、意見交換を行いました。出されたご意見の一部を紹介します。

<p>まちなみ 建築物 道路 など</p>	<p>よいところ ○歴史あるまちで市民の心の拠り所 ○アーケードは雨や雪をしのげて良い ○地形にアップダウンがあり表情に富んでいる、洪水の心配がない ○交通網が発達し便利 ○病院や銀行、文化会館などが近い ○NPO 支援センター、ハチ公プラザ、葬祭センターには人が集まる ○お寺は集客施設になっている ○道路が広い</p>	<p>よくないところ ●古く、暗いイメージ ●街に歴史や物語を感じることが出来ない。画一的な印象 ●シャッター通りになっている ●休憩できる場所が無い、トイレが不足 ●市民が安心して集える空間が無い ●老朽化した建物は、台風や地震で外壁が剥がれるのではないかと心配 ●車道が広く反対側の店に行きにくい ●駐車場不足、有料であることは不満</p>
<p>商店街の お店</p>	<p>よいところ ○ハチ公スタンプやイベントなどの活動がんばっている ○商店が集積していて買い物しやすい ○ここでしか求められない商品がある ○ネームバリューがあるので贈答品は大町で買う ○地元密着の顔が見える商売 ○病院や役所のついでに立ち寄れる ○知っている人が営業していて安心</p>	<p>よくないところ ●欠けている業種がある（食料品など） ●開店時間が遅く、閉店時間は早い ●若い人が行くような店が無い ●正札が無くなってから顔が無くなった印象 ●気軽に入れる店がない ●店員教育が行き届いていない ●イベントを夜にやるので、商店街の売り上げにつながっていないのでは</p>
<p>防犯 安全</p>	<p>よいところ ○アーケードの照明があるので夜も明るくて安心 ○火災に強い町並みだと思ふ ○大きな事件がない</p>	<p>よくないところ ●人が住んでいないので、もしもの時に助けてもらえない ●歩道がでこぼこしていて歩きにくい ●車道と歩道の段差があり、高齢者と幼児には危険 ●横断歩道について、赤信号の時間が長い、距離が長い、数が少ない ●空き店舗が多いので防災の上危険</p>

第2回ワークショップ（11/30）は「大町を魅力的にするアイデアを出そう」です。大町のよいところを生かし、問題点、不足している点を解決するための意見交換をおこないます。

先日実施したアンケートの結果がまとまりました

大館市では、旧来からの中心市街地である大町地区の活性化案を検討するため、「中心市街地活性化に関する意識調査」を下記の方法と地域で実施し、176名の方々からご回答をいただきました。

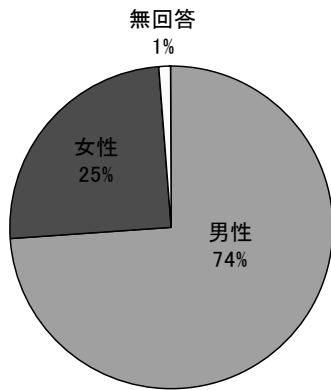
- 大館市全域 期間：10月12日から10月31日
回答方法：大館市ホームページに掲載し、Eメールで返信、回答数：5件
- 大町地区等（大町、中町、馬喰町、新町の4町）の事業者及び居住者 期間：10月17日から11月4日
回答方法：アンケート用紙に記入し郵送、回答数：48件（回収率 約30%）
- 職業能力短期大学の教職員及び学生 期間：10月17日から11月4日
回答方法：学校内にアンケート用紙を配置し、回答者は回収箱に投函、回答数：123件

※大館市の旧来からの中心市街地である大町地区では、数年前からかつての賑わいや活気を取り戻すべく活動し、「大町地区まちづくり協議会」を発足してまちづくりに関する勉強会を開催しています。今年度はさらに、国の支援による「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定され、市営住宅の建て替え等による街なか居住の推進や、旧正札竹村デパートの再整備を検討して中心市街地の活性化策を検討することとなりました。意識調査はその活動の一環で行っています。

「アンケートにご回答くださった方」

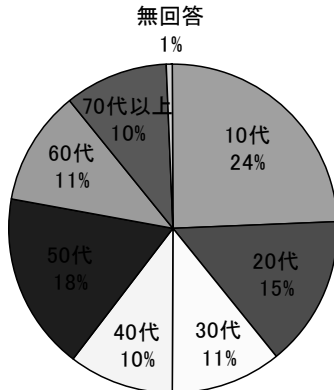
●性別

・男性が全体の約3/4を占めています。



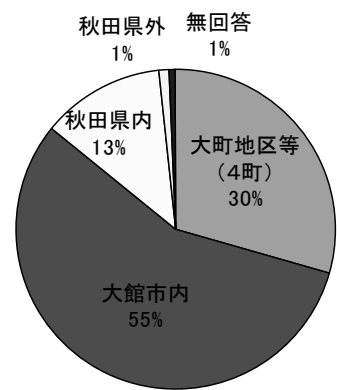
●年齢

・各世代にご回答いただきました。



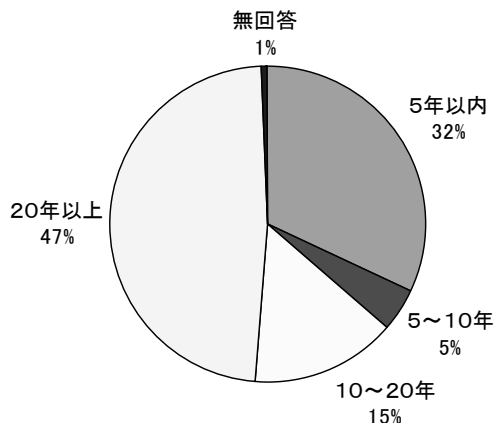
●居住地区

・大館市民が8割以上です。



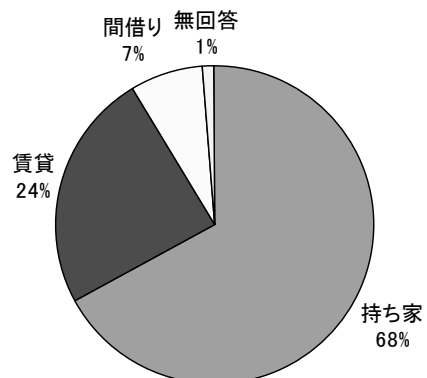
●居住年数

・約5割の方が現住所に20年以上お住まいです。



●住居の所有形態

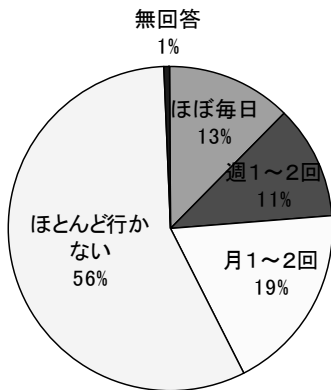
・約7割の方が持ち家にお住まいで、約1/4の方が賃貸住宅にお住まいです。



「大町商店街の利用状況」

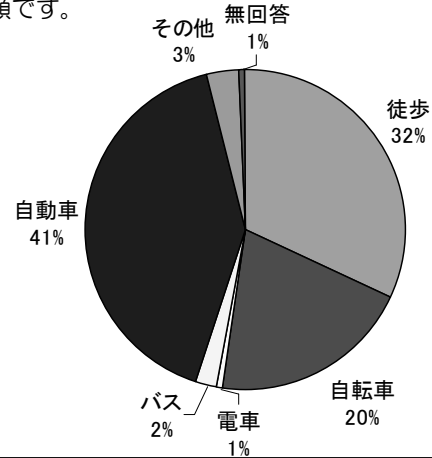
●大町商店街の利用頻度

・月に1～2回、ほとんど行かないを合わせて約3/4の方は大町商店街の利用が低い状況にあります。



●大町商店街への交通手段

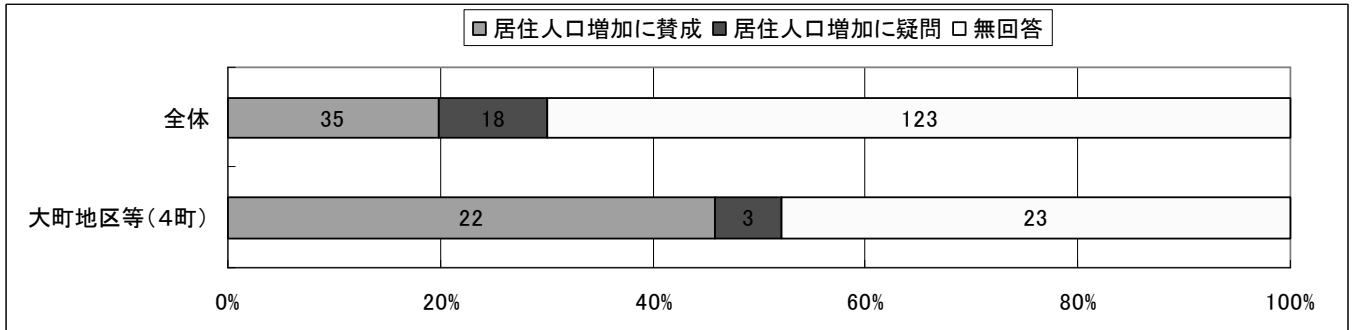
・自動車による来街者が約4割を占め、次いで徒歩、自転車の順です。



「まちの問題点・課題」

●中心市街地に活気を取り戻す方法の一つとして「居住人口の増加」を検討していることについて聞いてみました。

- ・「居住人口増加」に対する関心が低い状況にあります。
- ・大町地区等（4町）の方の約半数は「居住人口増加」に賛成されています。



●大町地区等について「不便だな、問題だな」と感じる点を聞いてみました。（複数回答）

- ・「駐車場不足」「業種不足」を挙げる方が多くいらっしゃいます。
- ・商店街の利用のしづらさ、活気の無さなど、きびしいご意見をいただきました。

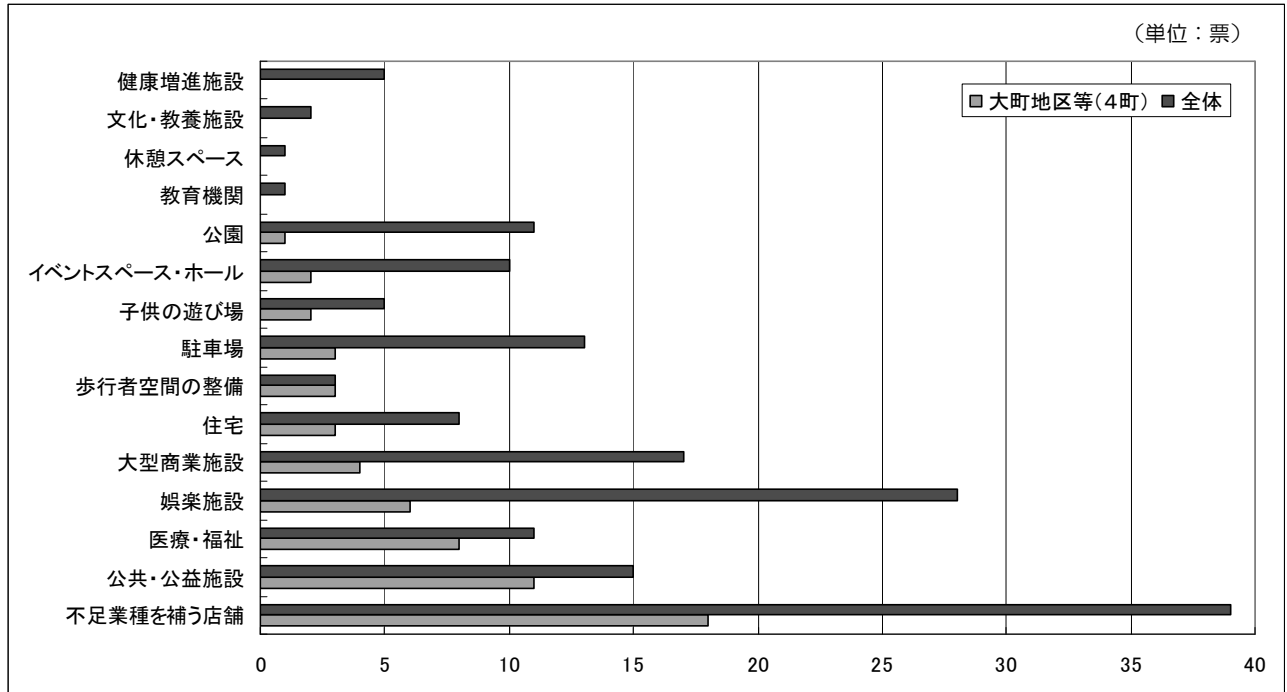
（単位：票）

	全体	大町地区等（4町）居住者	大町地区等（4町）事業者
1位	駐車場不足 47	業種不足 20	駐車場不足 11
2位	業種不足 36	駐車場不足 7	郊外店の影響 4
3位	営業努力不足 33	空き店舗の増加 4	核となる店舗の不足 4
4位	娯楽施設不足 20	人通りの少なさ 4	人通りの少なさ 4
5位	古い、暗い、活気が無い 19	休憩スペース不足 3	固定資産税が高い 3

「まちの将来像」

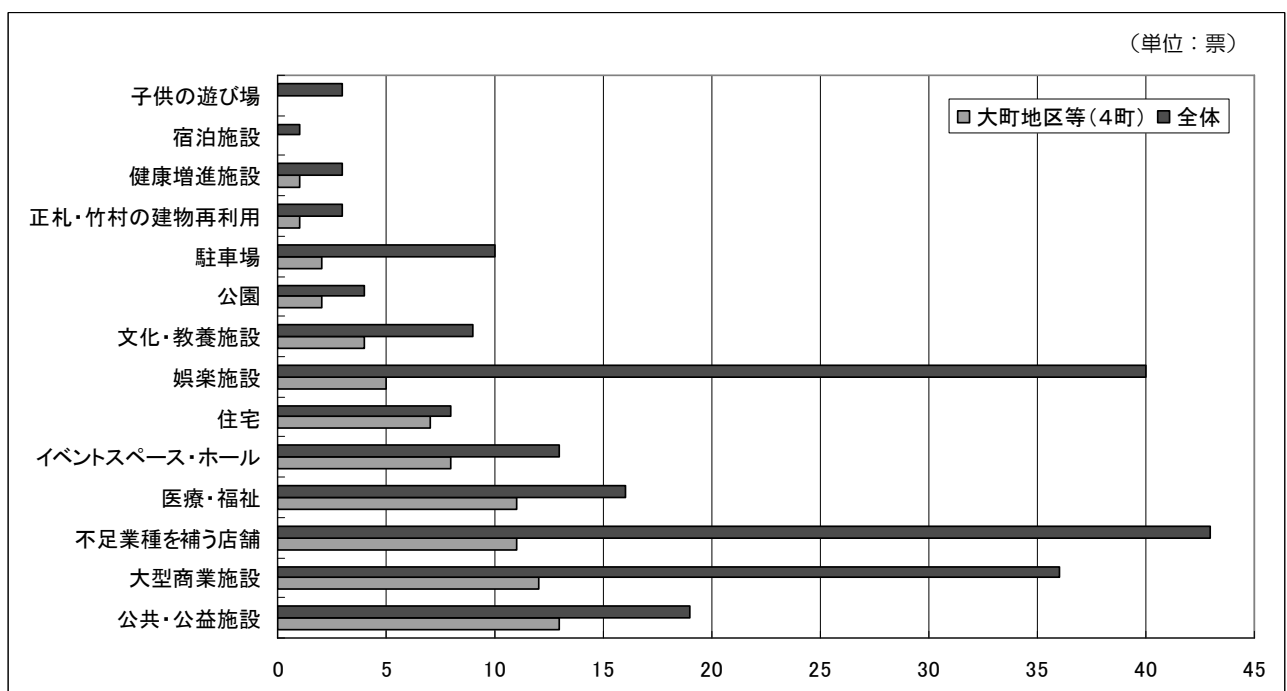
●市営大町住宅の建て替えにあたり、市営住宅以外の機能でにぎわいを取り戻すためにあるとよいものを聞いてみました。（複数回答）

- ・「不足業種を補う店舗」が最も多く、次いで「娯楽施設」「大型商業施設」が挙げられています。
- ・大町地区等（4町）の方も「不足業種を補う店舗」が最も多く、次いで「公共・公益施設」「医療福祉」と続きます。



●旧正札竹村デパート跡地の利活用方法について聞いてみました。（複数回答）

- ・「不足業種を補う店舗」が最も多く、次いで「娯楽施設」「大型商業施設」となっており、上記の市営大町住宅の建て替えに関する回答と同じご意見が上位を占めています。
- ・大町地区等（4町）の方は「公共・公益施設」「大型商業施設」「不足業種を補う店舗」「医療・福祉」が多いご意見です。



●大町地区及びその周辺に、市内にお住まいやお勤めの方々が集うためにあったらよいと思うものについて聞いてみました。（複数回答）

- ・ 大町地区及びその周辺にほしい施設について、「娯楽施設」「不足業種を補う店舗」を挙げる方が多くいらっしゃいます。大町地区等（4町）の方は「公共・公益施設」「イベントスペース・ホール」「不足業種を補う店舗」がほしいというご意見を多くいただきました。
- ・ 大町地区及びその周辺にほしいサービス・イベントについて、「祭、イベントの充実」が抜き出ており大町地区等（4町）の方にも同様の傾向があります。次いで「サービスの向上（割引、接客、美化）」で商店への期待が大きいようです。

（単位：票）

大町地区及びその周辺にほしい施設				
	全体		大町地区等（4町）	
1位	娯楽施設	47	公共・公益施設	13
2位	不足業種を補う店舗	41	イベントスペース・ホール	13
3位	健康増進施設	24	不足業種を補う店舗	12
4位	イベントスペース・ホール	19	文化・教養施設	7
5位	公共・公益施設	16	娯楽施設	6
			大型商業施設	6

大町地区及びその周辺にほしいサービス・イベント				
	全体		大町地区等（4町）	
1位	祭、イベントの充実	70	祭、イベントの充実	27
2位	サービスの向上（割引、接客、美化）	27	サービスの向上（割引、接客、美化）	6
3位	フリーマーケット	6	カルチャースクール	3
4位	娯楽施設の充実	5	ハチ公バスなどの増発	2
5位	ハチ公バスなどの増発	4	名産品販売	4



みなさまのご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◇アンケートに関するお問い合わせ先

《事務局》 大館市 建設部 都市計画課 兜森 （Tel 49-3111 内線313）
株式会社 都市環境研究所 田崎 （Tel 03-3814-1001）

発行元：大町地区まちづくり協議会
事務局：大館市建設部都市計画課
（株）都市環境研究所（担当：田崎）
TEL 03-3814-1001

大町地区とその周辺の再生整備基本計画案を作成しました



大町地区では、17年度に国の支援による「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定され、地域の方々の意見を聞きながら、大町地区まちづくり協議会やNPO、商工会議所、学識経験者、コンサルタント、行政等がまちづくりについての話し合いを重ねてきました。

このたび、この話し合いの成果を「大町地区再生基本計画案」としてまとめました。このかわら版では要旨をお知らせします。

■大町地区とその周辺の将来像(まちづくりの目標).....

「歩いて暮らせるコンパクトシティ」の再生

／働く、集う、住む、学ぶ、憩う、発信する
など複合した活動の場としてのまちの生成

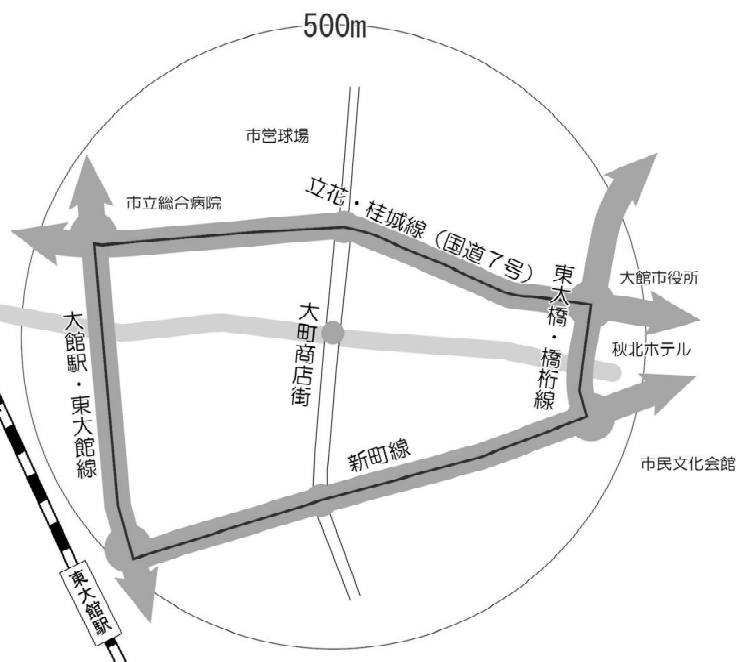
☆☆コンパクトシティとは？☆☆

「住む」も含めた様々な諸活動（「働く」「集う」「学ぶ」「憩う」「発信する」）を都市の中心部にコンパクトに集積することで、中心市街地活性化等を生もうとする考え方です。

大館市においても、大町地区とその周辺に都市の機能を集積することで、職住近接による交通渋滞の緩和・環境の改善が見込まれるだけでなく、郊外部の自然や農地を守ることに繋がると考えられます。この考えを大館市における「コンパクトシティ」の概念と位置づけ、大町地区とその周辺の将来像（まちづくりの目標）として掲げています。

■再生整備方針を実現するエリア.....

4つの道路に囲まれたエリアを中心に検討を行いました。
立花・桂城線（国道7号線）
大館駅・東大館線
新町線
東大橋・橋桁線



■まちづくりの方針

大町地区とその周辺の将来像（まちづくりの目標）を実現するため、以下の2つの視点に分けてまちづくりの方針をまとめました。

- (1) 土地利用方針（街なか居住と商店街再生の方針）
- (2) 基盤施設整備方針（歩行者中心の道路・交通の方針）

(1) 土地利用方針(街なか居住と商店街再生の方針)

① 街の核の整備

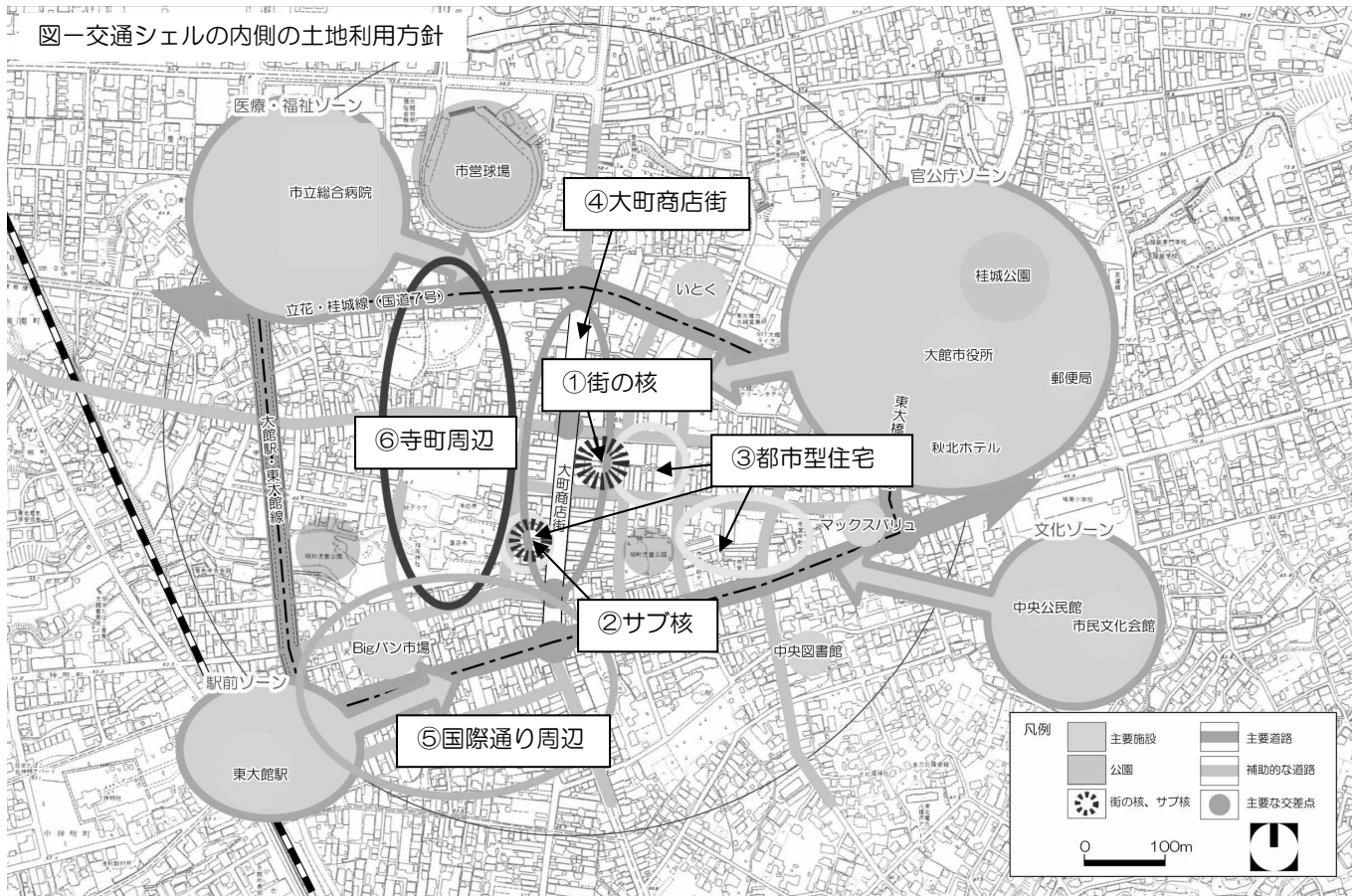
旧正札竹村跡地に、郊外店にはない魅力的な商業空間を創出し、「地域の顔」となる店舗や娯楽施設や文化・教養施設、業務施設の配置を検討します。

② サブ核の整備

市営大町住宅の建て替えを行い、住宅・店舗・福祉施設などが複合した建物を整備します。また、商店街を回遊する人々が憩える空間としての中庭も整備します。

③ 都市型住宅の整備

街なか居住を推進するために、市営大町住宅、新町・中町・向町の3団地、旧正札竹村跡地の各敷地で、各世代のニーズを反映した都市型住宅の整備を



④ 大町商店街の整備

「歩いて暮らす」人々のために、日常生活に必要な店舗（生鮮三品、総菜、パン、雑貨）を積極的に導入します。また、看板建築を活かし、景観に配慮した街並みづくりを行うことで、郊外店との差別

⑤ 国際通り周辺の整備

駅前には、駅利用者のための店舗を整備し、新町線沿道は、駅を利用する学生の通学路であることを意識した店舗展開とします。古い飲屋街は連鎖的な共同建て替えを推進し、災害に強い

⑥ 寺町周辺の整備

趣のある寺町として、参道空間をお祭りやイベント時などに積極的に活用できるように整備します。また、隣接する大町商店街との関係を生かせるように整備します。

(2) 基盤施設整備方針(歩行者中心の道路・交通の方針)

① 主要幹線道路の整備

国道7号(立花・桂城線)、バイパス(大館駅・東大館線)、新町線、東大橋・橋桁線の4本の幹線道路を自動車交通網(交通シェル)として強化することで、大町商店街の通過交通を排除します。

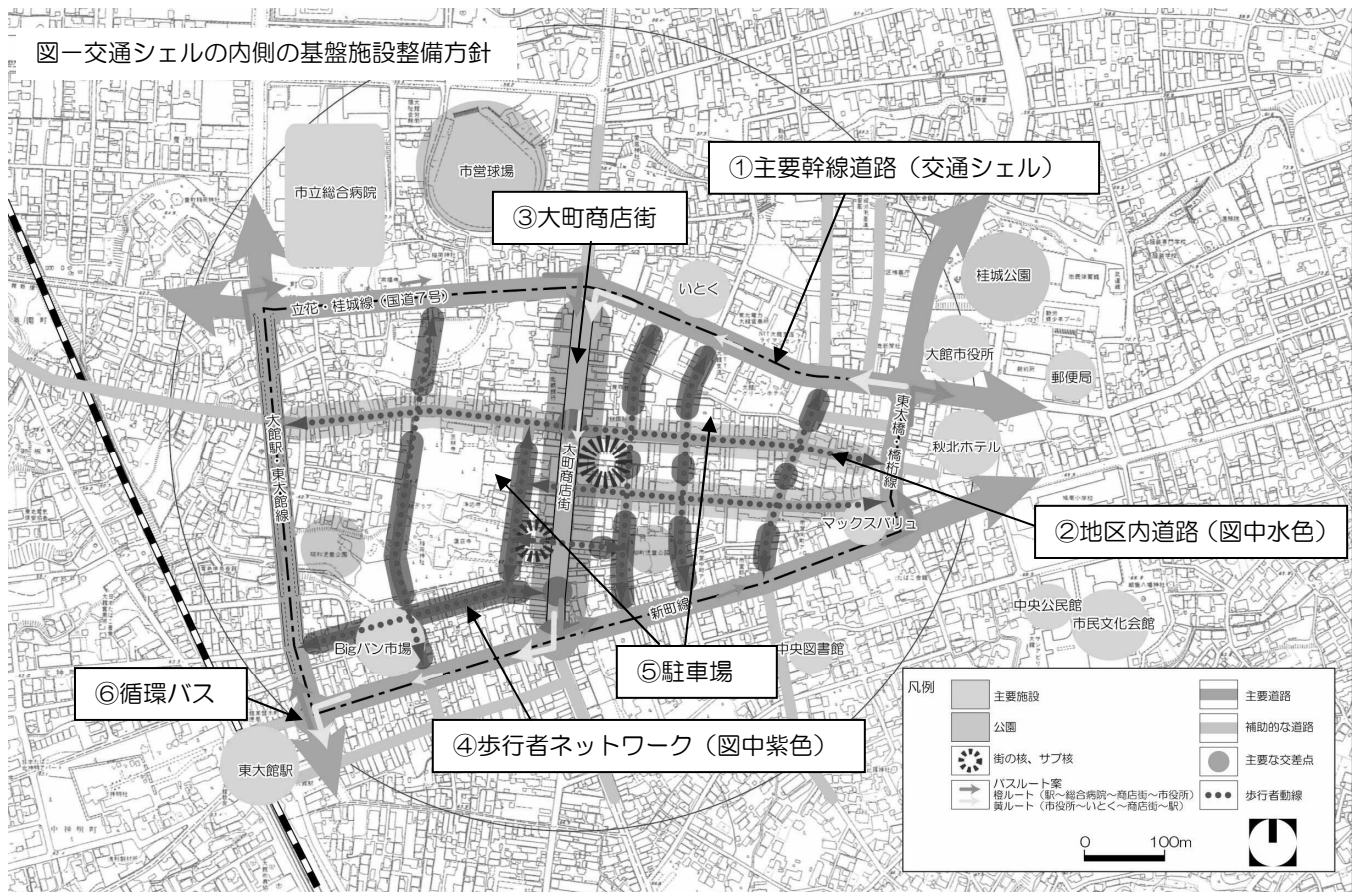
② 地区内道路の整備

歩行者と自動車が共存する道路として整備します。歩道を確保するため建物のセットバックや、自動車が制限速度内で走行するよう、ランプ(車道を横断する高さ数センチのかまぼこ状の障害物)を整備することで歩行者環境を向上させま

③ 大町商店街の整備

車道幅員の見直し、歩道の拡幅、バス停留所の整備などを行い、それと併せて街路樹の植栽や休憩用のベンチの設置、アーケードの再整備など、歩行者が中心となったオープンモールの空間を

図一交通シェルの内側の基盤施設整備方針



④ 歩行者ネットワークの整備

大町商店街と市役所、市立総合病院、市民文化会館、東大館駅とを連結する憩い・くつろぎの機能を持った歩道や広場、施設を整備します。また、舗装を変えることで趣のある歩行者空間を演出します。

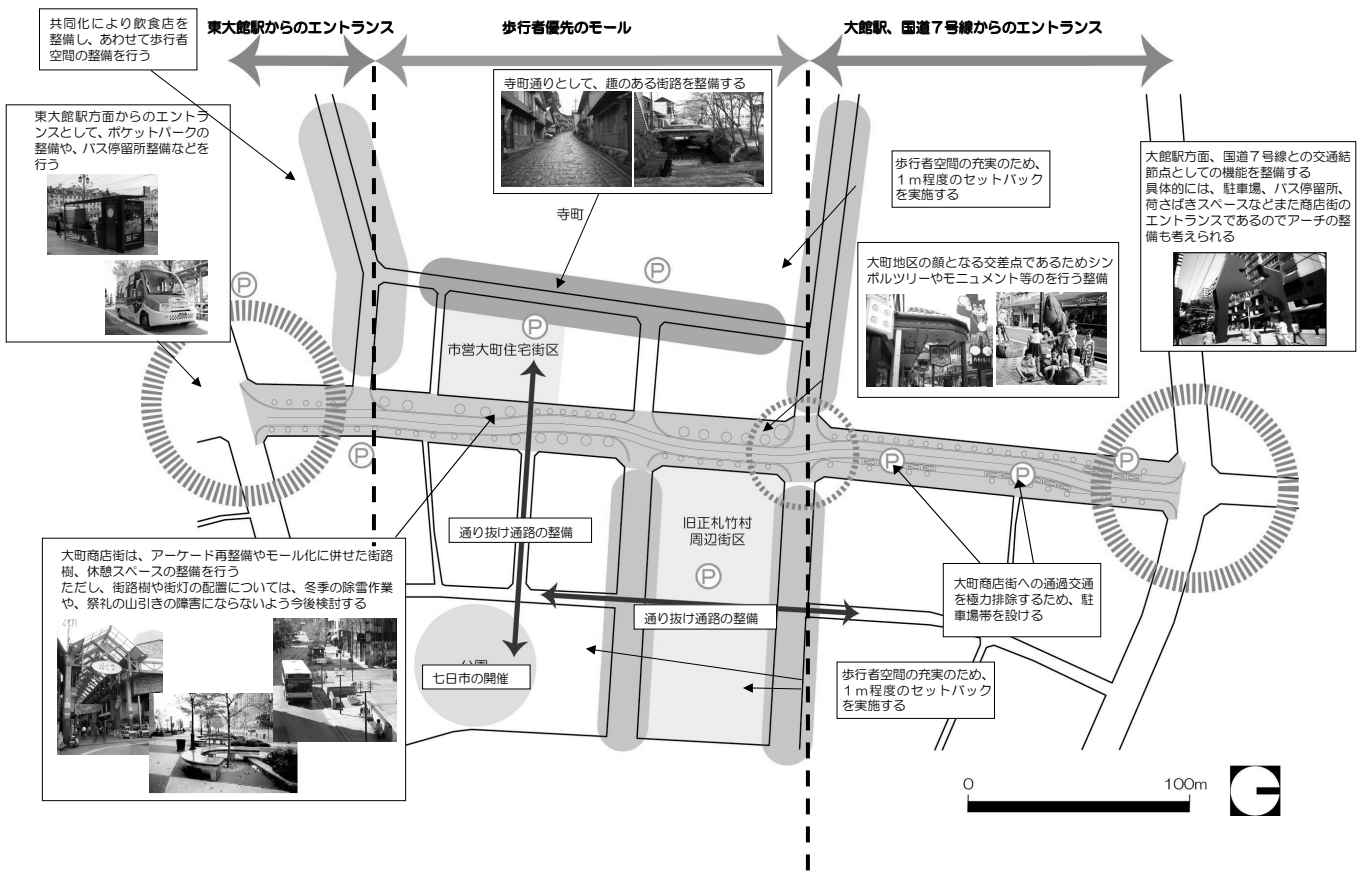
⑤ 駐車場の確保

交通シェルの沿道に、大町地区に必要な根幹的な駐車場を適宜配置します。立体駐車場の場合は、ファミリー層や高齢者に利用しやすいよう整備します。また、地区内居住者や店舗営業者の駐車場は街区レベルで適宜配置します。

⑥ 循環バスの運行

市役所や東大館駅、市民文化会館、市立総合病院などの主要施設を気軽に移動する手段として循環バスを運行します。バスは段差の少ない低床型の小型バスで、車イスの方も乗車できるものを導入します。

■大町地区とその周辺の整備計画案.....



■今後の進め方.....

今後も、地域の方々の意見を聞きながら、大町地区まちづくり協議会や NPO、商工会議所、学識経験者、コンサルタント、行政等によるまちづくりについての話し合いを続けていきます。

これからも、みなさんには、かわら版をとおして、話し合いの内容をお知らせしていきたいと思ます。

■大町地区まちづくりワークショップの様子.....



《第2回ワークショップの様子》
大町地区をよりよくするための街の将来像を話し合いました。



《第3回ワークショップの様子》
みんなで模型を囲んで計画案を検討しました。